

兵庫医科大学病院のチーム医療

所属部署の垣根を越えた

18の医療チームが さまざまな活動をしています



チーム医療とは、高い専門性を持つ多種多様な医療スタッフが互いに連携し合って医療を提供すること。兵庫医科大学病院には、専門職種のメンバーが所属部署を越えて集まる18のチームがあります。患者さんの状況に合わせて活動するこれらのチームを、6回にわたりご紹介します(第2回)。



病気とともにその人らしく過ごすためのサポートをする 緩和ケアチーム

緩和ケアチームには多職種のスタッフが所属しており、がん診療に携わるさまざまな部門と連携して、治療と並行した早期から、質の高い緩和医療を行っています。また、地域の病院や緩和ケア病棟との情報共有・診療連携にも力を入れており、切れ目のない緩和医療の提供を目指しています。

【構成メンバー】医師、看護師、薬剤師、管理栄養士、医療ソーシャルワーカー、理学療法士、作業療法士、歯科衛生士、公認心理師

人工呼吸器を装着した患者さんをサポート 呼吸ケアチーム(RST)

呼吸ケアを必要とする患者さんに対して、ケアの質と安全性の向上を図ることを目的としている、多職種からなるチームです。人工呼吸器を装着しておられる患者さんが早期に離脱できるようサポートするとともに、快適かつ安全なケアを行うために、各々の専門分野の知識を持ち寄り、担当スタッフとともに考え、実践しています。

【構成メンバー】医師、看護師、理学療法士、臨床工学技士、歯科衛生士



急変の可能性をいち早く察知し予期せぬ心停止を防ぐ ラピッドレスポンスチーム(RRS)

RRSは「院内迅速対応システム」と訳され、急変しそうな患者さんをいち早く発見し、早期介入をすることで、状態の増悪を防ぐことを目標としています。医療安全講演会を通じて院内でのRRSの認知を促進したり、職員に対する教育体制の整備、介入事案の症例検討会やフィードバック、データ収集・解析を通じて、活動の質の向上を目指しています。

【構成メンバー】医師、看護師



兵庫医科大学病院では、ここで紹介する18チームの活動以外にもチーム医療をますます推進し、患者さんご家族のQOL(生活の質)を高める、安心・安全な医療を提供してまいります。